

支援事例 ケース13

相談者

東京都在住 80代 女性 年金

【相談内容】

年初から、「物件取り壊しの為、年末までに転居して下さい」と大家さんからの通知を受け、お部屋探しをしていた相談者。

近隣の不動産会社に物件探しに行くも、80代の単身者で緊急時の連絡先が遠方では紹介出来ないと断られ続け、最近ではお部屋探しが苦痛になっていたそうです。

偶然人づてで当団体の会員企業の相談室を見つけた相談者は、上記を説明した上で、物件探しを手伝ってほしいと依頼されました。

【対応内容】

相談者の自宅に訪問し、希望物件の条件を伺ったところ、① 今の住居の近隣(住み慣れた場所)、② エレベータがない物件ならば1階か若しくは2階、③ 部屋の荷物が多いため収納が多い(若しくは部屋が広い)といった3つの条件をご提示されました。

上記の条件と予算を聞いて、連携している不動産会社に物件の紹介を依頼しました。

①の条件が想像以上にハードルが高く、結局、相談者に転居可能エリアを広げてもらい、漸く数件の物件を紹介してもらいました。

内見した中で最も部屋が広い物件を選択しましたが、大家さんも相談者の入居には積極的で、話がとんとん拍子に進み、相談を受けた1週間後には転居が終了していました。

【相談者様の声】

数十年間引っ越しをしていなかったのが知らなかったのですが、自分が一人で捜していた時に複数の不動産会社から(高齢の単身者は)難しいと言われた時は、本当にショックでした。

途方にくれていた私に、お部屋探しをしてくれた上に内見にも同行してくれて、たくさんの時間を使わせてしまい、申し訳なかったです。おかげさまで直ぐに転居が決まり、**本当に感謝しています。ありがとうございました。**